

事例

症状1 ポップアップ広告が表示される



- ・ 大量のポップアップ広告やバナー広告が表示される。
- ・ パソコンに大量の迷惑メールが送られてくる。

➔ **アドウェアが侵入している可能性があります。**

症状2 ブラウザの画面が変わっている



- ・ Webブラウザのスタートページが変わっている。
- ・ インストールした覚えのないツールバーが追加されている。
- ・ お気に入りの登録した覚えのないサイトが勝手に追加されている。

➔ **ハイジャッカーが侵入している可能性があります。**

症状3 パソコンの動作が遅い



- ・ 最近パソコンの動作が遅い。
- ・ インターネットに接続すると送信のトラフィックが多い。
- ・ 身に覚えのない請求書が届くようになった。

➔ **その他のスパイウェアが侵入している可能性があります。**



■Spybot Search & Destroy V1.4
希望小売価格(税別): **5,000円**

●企業様や教育機関様の一括導入向けに、お得なライセンス販売を行っております。詳細は弊社ホームページをご覧ください。

■ CPU/メモリ

次のOSごとに必要なIntel Pentium及び互換プロセッサを搭載したDOS/V機またはNEC PC98-NXシリーズのコンピュータ(NECPC98シリーズは動作不可)

OS	CPU	メモリ
Windows 98/98SE	133MHz以上	64MB以上
Windows Me	150MHz以上	64MB以上
Windows NT 4.0	133MHz以上	64MB以上
Windows 2000	133MHz以上	64MB以上
Windows XP	300MHz以上	128MB以上

■ 対応OS

日本語Microsoft Windows 98/98SE/Me/
NT Workstation 4.0 (Service Pack 6以降)/
2000 Professional/XP Home Edition/XP Professional

■ HDD: 15MB以上の空き容量

■ グラフィックカード: VGA以上

■ その他の必要条件: インターネット接続環境必須 Internet Explorer 5.5 (Service Pack 2以降)以上

■ 注意事項

- ・ Windows NT/2000/XP上でご利用になる場合、アドミニストレータ(管理者)権限にてインストールしてください。
- ・ Windows NT/2000/XP上で完全に動作させるには、管理者権限を持つアカウントが必要です。

■ サポートサービス

本製品はご購入後1年間、サポートおよびオンラインによる定義ファイルの更新がご利用いただけます。
※1年間ご利用後の更新手続きは、弊社ホームページにてご案内いたします。

※Spybot Search & Destroyは、Safer Networking社の商標です。
※Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
その他の製品名および社名などは各社の商標または登録商標です。仕様は予告なく変更する場合があります。

販売元/

Canon

キヤノン ITソリューションズ株式会社

セキュリティソリューション事業部

〒108-0073 東京都港区三田3-1-28

TEL: 03-5730-7198 FAX: 03-5730-7122

<http://canon-its.jp/>

開発元/

Safer Networking Ltd.

スパイウェア検出&除去ソフト

スパイボット
Spybot V1.4
Search&Destroy
サーチ アンド デストロイ

個人情報の流出原因となる
「スパイウェア」を検出し、安全に除去。

高速処理でスパイウェアを検出・除去

30,000を超える定義データを
基に高速検査(2005年10月時点)

常駐保護でブラウザセキュリティを向上

インターネット上で強制ダウンロードされてしまう
スパイウェアを阻止

リカバリー機能で除去ファイルを復元

誤って除去した重要なファイルなどの
復元が可能

CD-ROM Windows 98/98SE/Me/NT4.0/2000/XP対応

7408042000CIT-601

なぜスパイウェア対策が必要な？

スパイウェアが原因となる

『**個人情報**』の漏えいや『**パソコン**』の不具合は**ウイルス対策ソフト**だけでは防ぎ切れないからです。

個人情報とは何？

- 各種ID・パスワード
- クレジットカード番号・暗証番号
- Webサイトへのアクセス履歴

上記のような個人情報の流出により「クレジットカードの不正利用」、「預金口座の引き落とし」、「買った覚えのない商品の請求」など金銭的問題につながってしまうのです。

スパイウェアからパソコンを守るにはどうすればいいの？

『**Spybot Search & Destroy**』をご使用ください。

Spybot Search & Destroyは、スパイウェアを検出・除去できるスパイウェア専門対策ソフトです。

対応スパイウェア	定義数
高額回線ダイヤラー	6,841
ハイジャッカー (ブラウザのスタートページを変更する)	9,477
キーロガー	681
悪意のあるソフトウェア	4,243
スパイウェアおよび広告ソフトウェア	5,225
トロイの木馬	2,747
その他 (トラッキングCookie、セキュリティ漏えいなど)	838

2005年10月時点

スパイウェア対策

高速処理でスパイウェアを検出

検査機能

「Spybot Search & Destroy」は、30,000以上(2005年10月時点)の定義データを使用し、個人情報流出の原因となるスパイウェアやハッカーツールなどの危険なプログラムと、使用履歴やCookieといった情報も高速に検出します。検出したスパイウェアの除去はもちろん、メモリ上に展開してしまうスパイウェアも、システムの再起動時に除去することが可能です。

STEP 1 検査を開始

「Spybot Search & Destroy」を起動し、「検査の開始」ボタンをクリックします。

STEP 2 検査結果を確認

検査が完了すると、スパイウェアまたは個人情報を含むCookieやレジストリが詳細に表示されます。

STEP 3 除去完了

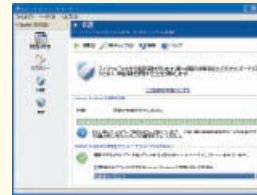
除去したい項目を選択し、「選択項目を除去」ボタンをクリックするだけで、スパイウェアなどの除去が完了します。

常駐保護でブラウザセキュリティを向上

保護機能

Webブラウザ※1に常駐させることにより、スパイウェアやハッカーツールなどによる強制ダウンロードを阻止※2します。これにより、スパイウェアを侵入の段階で阻止することが可能です。

また、「Spybot Search & Destroy」は、多くのスパイウェアが実行するレジストリの書き換え行為を検出し、システム設定を保護します。



※1 Internet Explorer に対応

※2 定義されたスパイウェアに対応

リカバリー機能で除去ファイルを復元

リカバリー機能

「Spybot Search & Destroy」は、スパイウェアやレジストリの情報などを除去する前に自動でバックアップを行います。もし、誤って重要なファイルを除去したことにより、システムに不具合が起こった場合も復元することができます。これにより、除去して良いのか判断しにくいスパイウェアの除去も安心して行うことが可能です。

その他の機能 (Windows 98/98SE/NT上では一部動作しない機能があります。)

- 定義ファイルの更新
- 検査対象からの除外設定
- 検査のスケジュール設定
- 検査や除去などのログ保存・表示
- スキンの変更
- システム情報の表示・書き出し
- ActiveX、BHOの無効化・一覧の表示
- ブラウザのスタートページ変更・一覧の表示
- hostsファイルの表示・項目の削除
- 実行プロセスの終了・一覧の表示
- 通信プロセスの表示
- システムスタートアップの無効化・一覧の表示
- アンインストール情報の削除・一覧の表示
- Winsock LSPの一覧の表示
- 検査結果の統計情報の表示
- 有効期限の表示

スパイウェアとは

スパイウェアとは、主にインターネットを通じて利用者のパソコンに侵入し、**アクセス履歴や個人情報**を収集して、それらをインターネット経由で第三者へ自動的に送信するソフトウェアのことです。

スパイウェアの利用目的

スパイウェアが収集する情報の多くは、個人がどのようなWebサイトを訪れているかという情報です。人々がよく訪れるページを知ることは非常に重要なのです。また、ブラウザのスタートページなどの変更はユーザーを特定のWebサイトへ誘導するための強引な手段です。最も悪質なスパイウェアは、キーボードで入力したクレジットカード番号や暗証番号などの文字情報を収集し不正に悪用するケースがあります。

スパイウェアの収集情報

- **アクセスしたWebサイトのURL**
- **ブラウザによって蓄積されたCookie**
- **パソコンの機種情報**
- **インストールされているソフトウェアの種類**
- **キーボードで入力した文字情報** など

スパイウェアの侵入パターン

スパイウェアが個人のパソコンに侵入するパターンは大きく3つあります。

- ① フリーソフトをパソコンにインストールすると一緒にインストールされるケース。
- ② Webサイトの閲覧時に紛れ込んでしまうケース。
- ③ メールに添付されてくるケース。